

屋外タンク明細書

事業の概要					
貯蔵する危険物の概要		引火点	℃	貯蔵温度	℃
基礎、据付方法の概要					
タンク の 構 造 ・ 設 備	形状			常圧・加圧（ k P a ）	
	寸法			容 量	
	材質記号、板厚				
	通気管	種 別	数	内径又は作動圧	
					mm k P a
	安全装置	種 別	数	作 動 圧	
					k P a
	液量表示装置等			引火防止装置	有 ・ 無
底板の腐食防止措置			タンクの保温材の概要	有 ・ 無	
注入口の位置				注入口の弁又はふた	有 ・ 無
防油堤	構 造		容 量	排水設備	
ポンプ設備の概要					
配管					
消火設備				タンクの加熱設備	
工事請負者					
住所氏名		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

屋 内 タ ン ク 明 細 書

事業の概要						
タンク構造専用室	壁			床		
	柱			出入口	(敷居高さ cm)	
	天井			ためます	有 ・ 無	
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数		設置階		
		建築物の構造概要				
				建築面積 m <sup>2</sup>		
タンク構造の設置備	形状			常圧・加圧 ( k P a )		
	寸法			容量		
	材質記号、板厚					
	通気管	種 別	数	内径又は作動圧		
					mm k P a	
	安全装置	種 別	数	作 動 圧		
			k P a			
液量表示装置等			引火防止装置	有 ・ 無		
注入口の位置				注入口の弁 又はふた	有 ・ 無	
ポンプ設備の概要						
採光、照明設備				排気、排出の設備		
配管						
消火設備						
工事請負者						
住所氏名		電話				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

## 地 下 タ ン ク 明 細 書

事業の概要					
タンク の 構 造 ・ 設 備	形状		常圧・加圧（ k P a ）		
	寸法		容 量		
	材質記号、板厚				
	通気管	種 別	数	内径又は作動圧	
				mm k P a	
	安全装置	種 別	数	作 動 圧	
				k P a	
	可燃性蒸気回収設備	有（ ） ・ 無			
液量表示装置等		引火防止装置	有 ・ 無		
注入口の位置			注入口の弁又は蓋	有 ・ 無	
ポンプ設備の概要					
タンク室又は危険物の漏れ防止構造の概要					
タ省 ン略 ク工 室事	タンクの外面保護				
	基礎、固定方法				
配管					
電気設備			漏洩検査管	有（ 箇所） ・ 無	
消火設備					
工事請負者					
住所氏名		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。